





### 石黒 勝(いしぐろ まさる)さん

元 金城小学校勤務。現在は名古屋ガイドウェイバス株式会社で「ゆとりーとライン」の普及・宣伝等をされている。また、あいち生涯学習インストラクターの会会員でもある。「人間としての温かさと凛とした信念、そして見識の3つを兼ね備えた人」(森談)。

石黒さんは退職されてから生涯学習に取り組まれました。そのきっかけは何だったのでしょうか。

石黒:退職後に生涯学習指導員として、名古屋市北生涯学習センターに勤めました。皆さんが熱心に勉強しよう、様々な人と交流しようという姿を目の当たりにし、生涯学習のすばらしさを味わうことができました。さらに多くの講師のコーディネートで生まれた人間的なふれあいから私自身が非常に勉強になったことがきっかけです。

今、地域の人々が学校現場に足を運び、教師と共に子供達を育てていこうという動きがあります。しかし、学校現場に入ろうとしても「学校の垣根」をなかなか越えられません。地域の人達にある程度の専門性があっても、簡単には学校現場はなかなか受け入れられない現状があると思います。

石黒:幸い、私は4年間、名古屋市北区役所でまちづくりの仕事を通して、行政の立場から学校と地域の接点で活動できて、日常的な話し合いの場もありました。その例として、校長先生のご理解がいただけた北区の金城小があります。

北区役所で働く早川明秀さんは行政の立場から、常に学校とかかわりながら、そのキャラクターは小・中学生にも親近感がありました。いつの日か授業をやってもらえると子供達も興味を示し、保護者からも喜ばれ信頼を得ると思っていました。そして今年の1月、金城小で「書とデザイン」というテーマで早川さんの考案による「ろう」を使った「ろうけつ書」という書道の体験の機会があり、子供達は大変興味を持って取り組みました。普段、教師からは

あまり評価されなかった子が早川さんから「センスいいね」と褒められると、表情が和んで自信を持つんですね。学校支援は学校の補完的な要素もありますが、学校とは違った視点で子供達を励まして自信を持たせる要素もあるのです。その道でやってきた方の言葉は子供達にも重く響きます。

学校にツテのない人は、どのようなきっかけで学校支援に係わっていったらよいのでしょうか。

石黒:身近な「縁」から係わっていったらどうでしょうか。例えば、名古屋市だとトワイライトスクールです。地域のトワイライトスクールにはボランティアの支援員がいて、その方を通じて「こんなことをしてみたい」という考えを伝え、専門員にも広げて実施することができます。他の市町村では気軽に生涯学習課などを窓口にされてはどうでしょうか。

最後に生涯学習にあたって信念やモットーは？

石黒:まず、自分自身の健康管理と、インストラクターの会での出会いや今回のインタビューなどの良い機会に恵まれたことに感謝しています。また、こちらの要望を一方的に述べるのではなく、常に相手の意見にも耳を傾けながら、何をお手伝いできるかということを考えています。そのためには相手の状況や立場を良く知ることが重要で、これは人をどう理解するかということにつながりますね。

聞き手:森 勝昭(生涯学習推進センター運営支援ボランティア・生涯学習インストラクター)

## 周辺から楽しもう!

「能狂言なんて難しくてよくわからん!」という方に、「そんなことないですよ。こんなに面白いですよ!」と意外な面白さを知っていただき、目からうろこが落ちる講座です。

日頃、能狂言は見ないけれど“歌舞伎”は見るとか、“俳句”は詠むとか、“歴史”は好きとか、“マンガ”はもっと好きとか、そういう方はたくさんいると思います。そんな方が、自分の好きな分野を通して自然に“能狂言”の魅力を感じていただけるようになる講座です。受講した後は、「よし、ひとつ能でも見てやろう!」という気分になっていることでしょう。講師は、各分野の著名な方をお招きしておりますが、能狂言にも造詣が深く、様々な角度からユニークで興味深いお話が聞けます。また、内容も眠くなるような硬いお話ではなく、映像やスライド・絵なども交えながらとにかく面白くてためになるものを目指しています。能狂言を見たことのない方も、もっともっと楽しみたい方も、是非一度のぞいてみてください。

## 能狂言をもっと面白くする講座



### こんなイベント

日時: 9/12(日)、10/23(土)、12/23(木・祝)

場所: 豊田市能楽堂

(豊田市西町1-200)

入場料: 1,000円

問合せ先: 豊田市能楽堂

T E L : 0565-35-8200

## コンサートシリーズ音楽への扉 「オペラ・フォーエヴァー」



【中嶋彰子】



【手嶋眞佐子】



【田村麻子】

### こんなイベント

日時: 第2回 10/16(土)

「オルガンとともに聴くオペラ・アリア」

第3回 11/20(土) 「オペラの新星発見」

いずれも 13:30 開演

会場: 愛知県芸術劇場コンサートホール

(東区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター内)

入場料: S席3,000円(ペア5,400円) A2,000円(ペア3,600円)

S席2,000円(ペア3,600円) A1,500円(ペア2,700円)

問合せ先: 愛知県文化振興事業団

T E L : 052-971-5609

## 土曜の午後はオペラの名曲に酔いしれて

コンサートシリーズ音楽への扉「オペラ・フォーエヴァー」はオペラの魅力を音楽面からお伝えしようとする4回のコンサートシリーズです。国内外で活躍する演奏家を招き、磨きぬかれた人間の声の素晴らしさをお届けします。

9月から始まったこのシリーズの第2回(10月16日(土)13:30)では、『オルガンとともに聴くオペラ・アリア』と題して、オペラの名曲をオルガンの調べに乗せてお楽しみいただきます。歌はウィーン・フォルクスオーパーで日本人で初めて主役を射止めたソプラノ、中嶋彰子。愛知県芸術劇場が誇るパイプオルガンの荘厳な調べと、美しいソプラノの歌声をお楽しみください。

第3回『オペラの新星発見』(11月20日(土)13:30)では、既に活躍し始めており、これからもその成長ぶりが気になるオペラ界の新星、手嶋眞佐子、田村麻子らをご紹介します。フレッシュな歌声をお楽しみください。

出演者のお話も交えたコンサートです。クラシックは敷居が高いと思わず、お気軽にご来場ください。



## 親子でそば打ち、餅つきをしよう ～ 冬の林間学校 ～



### こんなイベント

日時:11/13(土)～14(日) 1泊2日  
場所:愛知県野外教育センター  
(額田郡額田町千万町大平田17-5)  
入場料:大人(高校生以上)4,500円  
小人(中学生以下)3,800円  
問合先:愛知県野外教育センター  
TEL:0564-83-2221

## 親子でそば打ち、餅つきをしよう！

山々が色づく晩秋の額田、標高600mに位置する、ここ野外教育センターでは、「親子でそば打ち、餅つきをしよう！」と題した「冬の林間学校」を1泊2日で開催いたします。

初日は、餅つきから始まります。マキに火をつけ、米を蒸し、皆で餅をつきあげます。出来上がった餅は、きな粉、あんこをつけて召しあがっていただきます。

そば打ちは、二日目に行います。簡単そうで意外に難しく、力のいる作業は、親子の協力なくしては出来ません。力を合わせて頑張ってみましょう。打ちあがったそばは、家族ごとに茹であげ、昼食として召しあがっていただきます。



これらのほか、キャンドルファイヤー(ローソクの火を囲んでの楽しいゲームなど)、自然の素材を用いたクラフトなど、盛り沢山の内容をリーズナブルな価格で用意しております。

スタッフ一同、一生懸命お手伝いさせていただきますので、どうぞお気軽にご参加ください。

## 中国陶磁の至宝「唐三彩」の名品の数々を紹介

約100年前、中国河南省・洛陽市郊外の鉄道工事現場で唐時代(618～907年)の墓から、緑や黄、藍などの釉が彩り鮮やかにかけられた焼き物が大量に見つかり、世界に衝撃を与えました。人物や馬、駱駝をかたどった人形や壺、皿、碗などの遺物は貴族や有力者の墓の副葬品で、「唐三彩」と呼ばれて中国を代表する焼き物として親しまれています。

唐王朝の首都は長安(現在の陝西省・西安市)でしたが、洛陽も東の副都として栄え、女帝・則天武后の時代である7世紀末前後には首都となったこともあります。この展覧会では、洛陽を中心とした河南省各地で発見された埋葬年代の明らかな皇族や貴族、将軍などの墓で発見された唐三彩の名品に、窯跡からの発掘品を加えた118件の作品を展示します。古代中国の貴族文化の粋をぜひお楽しみ下さい。

記念シンポジウム:「唐三彩研究の新成果(仮称)」  
11/20(土)・21(日)開催予定

## 愛知万博記念特別企画展

「洛陽の夢 唐三彩展」



### こんなイベント

日時:11/16(火)～12/23(木) 毎週月曜日休館  
9:30 から 16:30 まで(入館は 16:00 まで)  
場所:愛知県陶磁資料館 本館  
(瀬戸市南山口234番地)  
観覧料:  
一般600円(480円)、高校生・大学生500円(400円)、  
中学生以下300円(240円) ( )内は20名以上の団体  
問合先:愛知県陶磁資料館 TEL:0561-84-7474



## ウィルあいち県民参画イベント

財団法人あいち女性総合センターでは、男女共参画社会の実現を目指し、社会参画と交流の促進を図るため、ウィルあいち県民参画イベントを開催します。この事業は、平成8年6月にウィルあいちのオープニングイベントとして始まって以来、今年で9回目となります。ウィルあいちを拠点としてこれまで活動してきた成果を発表したり、さまざまなグループとの交流を深め、ネットワークづくりを推進します。今年度は、2005年愛・地球博の開催に向けて機運を盛り上げるためのイベントや女性を取り巻く諸問題、女性及び男性の意識改革の現状、女性の社会参画などいろいろなテーマの講演、シンポジウム、発表会など約43のイベントを平成16年11月20日(土)、21日(日)の2日間実施します。

また、参加グループの担当者をメンバーとする実行委員会が、1階交流サロンで飲物コーナー、パフォーマンスなどの企画・運営に当たります。このイベントが行われる2日間で毎年延べ約3,000人の方々にご来場いただいております。さまざまな社会参画の機会や他のグループとの交流の輪が広がっております。多くの皆様方のご来場をお待ちしております。

## ウィルあいち県民参画イベント

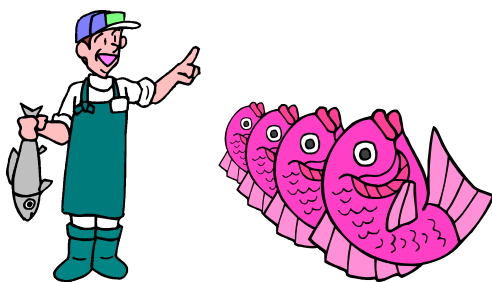


【昨年参加した八竜りパティールバンド】

### こんなイベント

日 時: 11/20(土)、21(日)  
 会 場: ウィルあいち(愛知県女性総合センター)  
 (名古屋市東区上笠杉町1番地)  
 入場料: 原則無料  
 問合先: ウィルあいち企画事業課  
 T E L: 052-962-2512

## 干もの作り教室



### こんなイベント

日 時: 11/27(土)~28(日) 1泊2日  
 会 場: 愛知県美浜少年自然の家  
 (知多郡美浜町大字小野浦字宮後1-1)  
 入場料: 大人: 4,500円  
 小・中学生: 3,800円  
 通信費: 80円(1家族)  
 問合先: 愛知県美浜少年自然の家  
 T E L: 0569-88-5577

## 家族で魚の干もの作りを体験！！

前方には伊勢湾が広がり、後方には緑豊かな森が迫るといふ恵まれた自然環境に建つ美浜少年自然の家では、平成16年11月に「自然を楽しむ親子のつどい」として1泊2日の日程で「干もの作り教室」を開催します。

日頃スーパーや魚屋さんで買って来て何気なく食べている魚の干ものについて、体験を通して学び楽しんでいただくイベントです。

まず、みんなで干ものにする魚をさばきます。さばいた魚は味付けをして、干し網に干します。翌日は美浜少年自然の家の森を使ったゲームを楽しんでいただき、戻ってきた頃には美味しい干ものができあがっているという趣向です。お昼はもちろんできあがった自分たちの干ものを味わっていただきます。

寒い冬だからこそ楽しめる食の日本文化です。我が家の味を見つけてお帰りいただければ幸いです。

皆様からのご応募を職員一同心よりお待ちしております。

# 自然がいっぱい！体験がいっぱい！



電話：0565-68-3200

FAX：0565-68-3203

ホームページ：

<http://www6.ocn.ne.jp/ashkogen/>

住所：〒444-2893

東加茂郡旭町大字小瀧野字坂38-25

Mail: [asahi444@siren.ocn.ne.jp](mailto:asahi444@siren.ocn.ne.jp)

愛知県旭高原少年自然の家は、愛知高原国定公園の北東部の旭高原と呼ばれるところに位置し、豊かな自然に囲まれた高原型の社会教育施設です。

約6万㎡の敷地の中に、宿泊定員500人の宿泊棟を始め、10の研修室・講堂・体育館・創作棟・コンサート広場などの施設があります。

これらの施設を利用して、各種の団体が宿泊研修・野外炊飯・キャンプファイヤー・ウォークラリー・ネイチャーゲームなど、生涯学習の時代にふさわしい様々な学習や体験ができます。

また、小学生以上とその家族を対象に主催事業も行っています。旭高原の自然に親しみながら、親子で自然体験・野外活動・手作り活動を通じて、楽しさや創造の喜びを味わうとともに、他の家族及び世代を越えて交流交歓を図ることができます。

「ネットワーク機関」とは生涯学習情報を「学びネットあいち」に提供してくださる生涯学習関連機関・団体で、随時募集しています。詳しくは愛知県生涯学習推進センター（電話052-961-5333）にお問合せいただくか、ホームページ（<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>）をご覧ください。

愛知県旭高原少年自然の家

## 生涯学習のことは

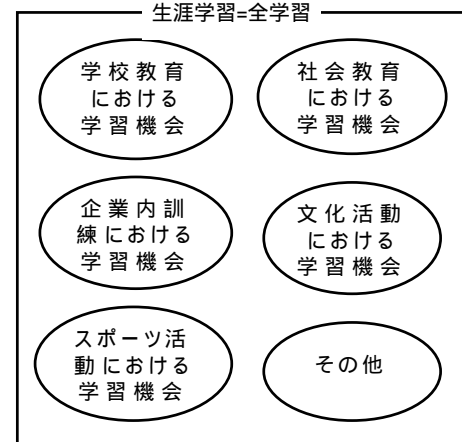
「社会教育」と「生涯学習」という言葉を聞きます。どう違うのでしょうか？



「社会教育」は、主に青少年・成人に対して、学校教育と同様に、学習機会を提供するシステムの一つであり、これに対して「生涯学習」は、定義づければ「国民(県民)一人ひとりが生涯にわたって行う学習活動」であり、そういった意味では、社会教育は生涯学習の一部として包含されると言えます。

さらに、「生涯学習」は、これだけの概念にとどまらず、生涯学習社会(生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような社会)をつくりたいという理念であると言えます。

生涯学習=全学習



このコーナーでは、生涯学習に関することばの疑問にお答えします。疑問のある方は県生涯学習推進センター（TEL:052-961-5333 FAX:052-961-0232 メール: [info@manabi.pref.aichi.jp](mailto:info@manabi.pref.aichi.jp)）までお知らせください。



# ボランティア活動紹介

今回は海部地区特集です。

## 共に生きよう！

名鉄津島駅を出て徒歩2分の商店街に「ふれあいショップダンケ」という店があります。その店では喫茶コーナーと、販売スペースがあり販売しているものは、海部・津島地域の障害者作業所で作られたオリジナルな手作り作品や市民の人たちが趣味を生かして作られた衣料・バッグなど。また、家庭菜園で作られた新鮮野菜を販売し、二階では軽作業も行われており、その店で働くスタッフは知的障害や心の障害を負う人たちです。

朝10時、数名のスタッフ・ボランティアが出勤します。「おはようございます」から始まる1日は、生きている実感と人と関わることの緊張からスタートします。ダンケのボランティアの特徴は「支援をしない」と言うことです。どういうことかと言いますと、スタッフ主体のこの店では【支援される障害者】と【支援するボランティア】という関係ではなく、人としての関わりの中で生きることを日々体験していきます。人として関わりますからお互いが甘え・文句を言い・怒り・やさしく関わるという通常の間人関係が繰り返されていきます。その中で人との関係を学び養う場としてこの店がNPOに

よって設置されました。このショップの成り立ちは1997年頃、私たちが地域福祉施設支援ボランティアとして活動をしている中で、一人のボランティアから「家にひきこもっている子どもがいて、どうしていいか・・・」と言う声を聞きました。「親がボランティアしていて子供が(成人ですが)ひきこもっているのはやりきれない。」との思いから、家の中だけで生活する青年のために仲間の女性が月1回のケーキ作りを行い、人と関わりを体験することが始まりました。2002年10月津島市の支援を得て「ふれあいショップダンケ」が誕生し、現在10名のスタッフと1カ月延べ30名のボランティアが関わっています。まもなく2年になりますが、地域商店街の人たちも障害の有無に関わらず挨拶をし交わってくださり、少しずつ心のバリアフリーが広がっている手ごたえを感じています。最近、スタッフの人の中からダンケだけでなく、一般の企業にアルバイトをする人も出てきました。(犬飼三郎)



### NPO共生会

代表者：犬飼三郎  
 活動場所：NPO共生会  
 ふれあいショップダンケ  
 連絡先：NPO共生会事務所  
 TEL：0567-26-5059

## 自分さがしのボランティア

「一日ボランティア体験教室」が、十四山村の社会教育課が中心となって開催したのは、今から12年前のことでした。2年目の体験教室が終了した秋、子どもたちが自主的に集まり、仲間を募り、継続的な活動をしていくためにサークルを結成することにしました。『十四山青少年ボランティアサークル スマイル』の誕生です。

それから数えて、今年でちょうど10年目を迎えました。現在は、小学生から大学生までの40名の仲間で、楽しく活動をしています。

活動内容を紹介します。

夏の盆踊り大会では、太鼓を担当しています。この太鼓の打ち方は、自分たちで作り上げてきました。指導者は先輩で、毎年引き継がれていきます。会場のクリーン作戦も分担しています。



秋の文化祭の会場では、中部盲導犬協会の活動のお手伝いをしています。盲導犬との歩行体験は、「サーブ」や「キール」の影響もあって、人気の定番となっています。

冬には、施設訪問・保育所での幼児との集い



など、本当に楽しい活動をしています。

メンバーの年齢層が幅広いので、関心を持つ活動も多義に渡っています。友達に勧誘されたのがきっかけで、初めはしぶしぶ参加していた子が、知らぬ間に活動の中心となり、サークルにはなくてはならぬ人に成長していく子もいます。

また、人前で十分に話すことができなかつたメンバーが、活動を続けているうちに学生会のリーダーとなり、大変素晴らしいスピーチができるようになりました。これは、サークル活動の副産物です。

良き仲間との出会い。子どもたちが、メンバーの中で成長していく姿を見るのが、何よりも楽しみです。これからもスマイルの「自分さがしの旅」は、楽しく引き継がれていくことと思います。

(東嶋とも子)



### 十四山青少年ボランティアサークル 「スマイル」

代表者：東嶋とも子

活動場所：十四山村公民館・

十四山村スポーツセンター

連絡先：十四山村生涯学習課

T E L : 0567-52-2110



## 知多ブロックにおける活動



“子育てネットワークあいち尾張・知多ブロック”には、現在4市5町の50名ほどが所属しています。

皆さん各市町での活動だけでも大変なため、ブロック会へ顔をそろえることもままなりません。何ヶ月かに一度の不定期の会合の折には、それぞれ話がつきません。会での情報交換は、行事のアイデアや、支援者としてのより良い係わり方や、行政との上手な関係など、いつも学ぶことが多く、各自の活動への意欲となっているようです。

自主企画の『子育て講演会』はメンバーが学ぶだけでなく、子育ての当事者や他の支援者の皆さんにも参加していただけるものです。今年度は、特にリーダーの養成に力を入れ、知多ブロックのみで5回の講座(委託・自主含む)を計画しています。小児医療などの専門的な話、絵本の話、これからの子育てネットワークのあり方など、どれも興味深い内容で今から楽しみにしています。

### 梅原泰世

活動場所: 武豊町中央公民館  
 連絡先: 武豊町教育委員会  
 生涯学習課  
 TEL: 0569-73-2424

## 地域の中での子育てネットワークとして

新川町には7人の子育てネットワークがいます。みな養成講座を修了してから数年たち、活動が充実しています。活動の場としては、社会教育課の「親子ふれあい広場」社会福祉協議会の「親子サロン」有志の会の「子育て勉強会」があります。

今年さらには体験学習として夏休みに小学生と「ジャンボしゃぼん玉づくり」にも挑戦する機会がありました。インターネットでレシピを調べ試行錯誤しながらも成功することができ、頑張った分だけ達成感がありました。子ども達からは、「来てよかった」「楽しかった」と喜ばれ、やり甲斐さえ味わいました。

行政とネットワークが常に連携をとり信頼関係を築き、また親や子ども達とコミュニケーションをとることで、多くの方から親しまれ、地域の中で子育てネットワークが必要とされていることに感謝しています。



【初めてジャンボしゃぼん玉に入った!!】

### 新川町子育てネットワーク 原田晴美

活動場所: 新川町体育会館  
 連絡先: 新川町教育委員会  
 TEL: 052-409-1535  
 FAX: 052-409-7765

## こども環境サミット 2005 ボランティア募集！

2005年7月26日から4日間、UNEP(国連環境計画)と共催で「こども環境サミット2005」を愛知県豊橋市と豊田市、2005年日本国際博覧会会場で開催します。世界各国から集う10～14歳の子どもたちは、会議やワークショップ・フィールドトリップなどに参加して環境に関する意見を交わし、交流を深めます。

あなたもこのサミットに運営ボランティアとして参加してみませんか？

活動の種類: グループ活動補助、事務局補助など

活動期間: 2005年7月25日(月)～30日(土)

応募資格: 2005年4月1日時点で満15歳以上

日常会話以上の英語ができること

環境問題に関心があること など

主催: 愛知県、豊橋市、豊田市、UNEP(国連環境計画)など



Children's  
WORLD  
SUMMIT  
FOR THE ENVIRONMENT  
2005 AICHI JAPAN

こども環境サミット2005

実行委委員会 事務局

問い合わせ先: 052-954-6238

info@children-summit.jp

<http://www.children-summit.jp>

## 愛知万博ニュース



愛地球博

### 愛知グリーンマップ2005の作成に参加してみませんか！

愛知グリーンマップ2005は県民参加でつくりあげる環境地図です。愛知県の「環境情報」を、世界初の全県版の環境マップにして、瀬戸愛知県館に展示します。環境活動の拠点、残したい自然、人にやさしい場所など、地域ならではの「環境情報」を絵文字(アイコン)を使って作成してください。参加方法はインターネットに接続できる環境であれば、だれでも情報を入力することができます。下のホームページからアクセスしてください。

多数の参加をお待ちしています。

<http://www.aichi-greenmap.jp/>

お問い合わせ先

県民参加ワーキング・グループ事務局

〒460-0014 名古屋市中区富士見町9番16号有信ビル2F

TEL: 052-339-5715 FAX: 052-339-5651

<http://www.kenminsanka.org/>



入力画面

## 「吉良町生涯学習のまち宣言」から10年目を迎えて 公民館から生涯学習情報を発信！～吉良町～

吉良町は、今年度「吉良町生涯学習のまち宣言」から10年目を迎えました。現在、特色ある公民館講座として、吉良の地域色を生かした「吉良を生き創る学級・講座」、完全学校週5日制に対応した子ども向けの講座「きらっこスクール」、近隣の大学と連携した、専門的な分野を学ぶ「リカレント講座」などを開講しています。

### 特色ある公民館講座

「吉良を生き創る学級・講座」では、まちづくりリーダーの人材養成を目指した『きら塾』や、吉良で古くから行われていた塩作りに着目した『塩の道を探る』など、多彩な講座を開講しています。

また、「きらっこスクール」では、町文化協会(地域の大人)の協力を得て行っている、日本の伝統文化、囲碁・将棋・陶芸・和太鼓教室、ニーズの高い英語・スポーツ教室など様々な教室を開講。また、夏休み期間中には、親子で参加できる工作・実験・クッキング教室などを開講し、人気の講座となっています。



地域の大人が講師となって、和の心を伝える  
「盆踊り親子太鼓教室」

### 公民館講座の祭典「公民館ふれあいの集い」

吉良町公民館では、このようにさまざまな生涯学習講座を開講しています。こうした講座の受講生や卒業生の学習成果の発表の場として、毎年2月に2日間にわたり、「公民館ふれあいの集い」を開催しています。また、指導的立場の方と触れ合う「町の達人に会おう!」を同時開催することにより、講座受講生同士の交流の場、受講生以外の方への学習機会のPRの場となっています。



絵手紙体験など各種体験コーナーも開設

### まちの生涯学習情報のネットワーク「きらら達人ネット」

「自分の特技を生かして、活動したい。」「サークル仲間を増やしたい。」など、生涯学習にかかわるみなさんのネットワークとして、「きらら達人ネット」があります。達人ネット登録者は、公民館講座や地域のグループの講師として、幅広く活躍しています。

今後は、住民のみなさんが「いきいき学ぶ」環境づくりとともに、生涯学習ボランティアを広く募集し、住民主体の生涯学習の町を目指していきます。



# 生涯学習推進センターからのお知らせ



「地域子ども教室推進事業」が実施されています！

「地域子ども教室推進事業」とは、地域の大人の教育力を集結し、学校を活用して、子どもたちの放課後や週末におけるスポーツや文化活動などの様々な体験活動や地域住民との交流活動等を支援する指導員を派遣し、緊急かつ計画的に子どもたちの居場所(活動拠点)の整備を行う事業です。愛知県内では、現在下記の19市町村とNPO法人(2団体)が実施しています。積極的に参加してみてください。

【子どもの居場所づくり】

<http://www.ibasyo.com/>

市町村・NPO法人名	事業名	回数	問合せ先
名古屋市	トワイライトスクール	毎日	052-972-3252
犬山市	子ども大学	週1~2回	0568-61-1800
岩倉市	北小学校地域子ども教室 始め5件	週1回	0587-66-1111
扶桑町	扶桑町子ども教室	月2回	0587-93-5200
大治町	大治町地域子ども教室	週2~3回	052-443-2671
東海市	緑陽小学校地域子ども教室 始め12件	週1~2回	052-603-2211
高浜市	SUNDAYふれあいクラブ(港小) 始め4件	週1回	0566-52-1111
吉良町	きらっこスクール	週1回	0563-32-1111
幡豆町	幡豆町子ども教室	週1~2回	0563-63-0130
額田町	額田町南部地域子ども教室 始め2件	週1~2回	0564-82-2075
下山村	下山村スポーツ教室	週1~2回	0564-86-2111
音羽町	子どもクラブ	週1回	0533-88-8008
一宮町	一宮町土曜教室	週1回	0533-93-4632
小坂井町	寺子屋教室	月2回	0533-78-4577
御津町	御津町サタデークラブ	月3回	0533-76-4714
渥美町	子ども教室	月2回	0531-33-1000
瀬戸市	道泉モアスクール 始め2件(未実施)	週5日	0561-84-8161
津島市	フリータイムスクエア	週1~2回	0567-25-2165
豊明市	栄フラワークラブ 始め9件	週1~2回	0562-92-8317
名古屋おやこセンター (名古屋市内)	Kid's College(キッズカレッジ)	週1~2回	052-939-2810
ソシオ成岩スポーツクラブ (半田市内)	トワイライトルーム	毎日	0569-26-7771

問合せ先は市町村生涯学習主管課またはNPO法人事務局の電話番号です。

## 愛知県生涯学習推進センター

開館時間

9:00 ~ 21:00

休館日

日曜・年末年始

電話

052-961-5333

FAX

052-961-0232

ホームページ

<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/>

メール

[syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp](mailto:syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp)

交通案内

地下鉄「市役所」駅2番出口東へ徒歩約3分

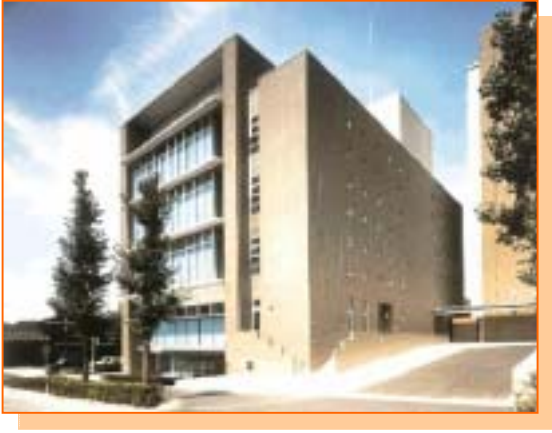
名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約4分

基幹バス「市役所」下車東へ徒歩約5分

駐車台数に限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。



# 岡崎市情報ネットワークセンター



【外観】



【情報ロビー】

当施設は、平成8年11月のオープン以来、岡崎市の目指す「人にやさしい情報ネットワークによるまちづくり」の情報拠点施設として、市民の方が「いつでも、どこでも、好きなとき」に必要な行政情報を入手できるよう様々なサービスを提供しています。

1階には、ケーブルテレビの番組制作拠点として活用されているサテライトスタジオとFMラジオ局の編集スタジオがあります。スタジオでは、市の広報番組の収録が行われており、市民の方が収録風景をご覧になることもできます。

2階には、行政情報を自由に閲覧できる情報ロビーがあります。情報ロビーには、120インチの大型スクリーンや観光情報などを閲覧できる情報端末、テニスコート予約端末、インターネット端末などがあります。また、情報ロビーでは夏と冬の年2回、小中学生を対象とした特別企画を催しています。

3階には、教育を中心とした映像情報を供給している視聴覚ライブラリーなど、4階には、市民の方がグループで自主的にパソコン操作などを学べる情報研修室があるほか、施設内には、岡崎市の情報サービスの心臓部となるマシン室があり、地域の情報発信の中心拠点としての役割を担っています。

開館時間	月曜日～金曜日 午前9時～午後7時 土曜日・日曜日 午前9時～午後5時
休館日	毎月第1・第3土曜日及びその翌日の日曜日 国民の祝日 12月28日～1月3日
入館料	入館料：無料 4階情報研修室：催物当日 6,000円/日 準備・撤去 1,800円/日
電話	0564-23-6780
FAX	0564-27-1322
URL	<a href="http://www.city.okazaki.aichi.jp/jnc">http://www.city.okazaki.aichi.jp/jnc</a>
住所	(〒444-8601)岡崎市菅生町一丁目3番地1



いきいきあいちっ子キャンペーン  
イメージマーク

編集・発行 / 愛知県教育委員会生涯学習課 生涯学習推進センター  
平成16年9月 8,000部発行  
〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号 電話 052-961-5333